

# 韓国ドラマ・映画から見る社会問題

近年、韓国ドラマ・映画が世界中で人気である。2017年以降の韓国ドラマ・映画は、現実と仮想の区別がつきにくく、その境界線はないに等しい。そこで、『パラサイト 半地下の家族』、『Mine』、『SKY キャッスル』、『82年生まれ、キム・ジョン』という作品を例に挙げて作り手が訴えかけている実際の韓国の社会問題について研究した。そこから韓国社会で所得・経済格差を助長し、拡大させているのは教育格差であり、子供の時から大きな学力格差や機会の不平等が生じているということが分かった。

この先も韓国の未来はさらなる変化が待ち受けており、人口減少を迎える韓国は今後高齢化が進み、理不尽な格差に苦しむ韓国の若者はさらに追い詰められる可能性が高いため、社会問題に関心を持ってこの状況を改善していくために取り組む必要がある。